

予約型乗合バスの車両代替について

現行車は、運用開始11年、走行距離約35万キロとなり、不具合が見られるようになってきたことから、次のとおり車両代替を行います。

1 現行車

トヨタ ハイエースワゴンGL4ドア 10人乗り

2 後継車

トヨタ ノアHEV ウェルジョイン2WD 7人乗り

3 車両の選定理由

(1) 現行車（ハイエース）による負担

予約型乗合バスが運行している地域は、アップダウンや細い路地が多いことから、現行車（ハイエース）による運転士への負担は大きい。現行車（ハイエース）は商用車であり、低床のミニバンよりも高齢者が乗り降りする際に負担となる。

(2) 同時乗車人数

令和6年4月～令和7年3月までの同時乗客人数を集計したところ、7人以上が同時に乗り合わせた割合は0.91%。

現行車（ハイエース）の乗客定員は9人であり、必ずしも現行車（ハイエース）である必要はない。

(3) その他

運行事業者の実績をもとに信頼できる車種を選定。

4 代替時期

令和8年4月～5月頃

5 その他

(1) その他の仕様

後継車には、ステップ、手すりあり。スライドドアは運転手がボタンで開閉する。助手席は回転しない。

(2) 車体広告

車体に広告枠を設け、予約型乗合バスの運行を支援、応援していただける事業者等の広告掲載を募る制度を開始。



後継車イメージ（トヨタ ホームページより）